

2011 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	中尾 秀博		
NAME			

1. 研究課題

(和文) 先住民の映像表象

(英文) *The visual representation of indigenous peoples*

2. 研究期間

2 年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

映像 (写真や映像メディアなど) における環太平洋地域、なかでもアメリカ合衆国を含む北米地域、日本、オーストラリアおよびニュージーランドを含むオセアニア地域の先住民の表象について、歴史的・文化的な観点からの考察を進めた。

初年度の 2011 年度は、その年の 12 月にスペインのバルセロナ大学オーストラリア研究所主催の学会 (Pacific Solutions Conference) でのシンポジウム発表に向けて、具体的なテーマを決め、資料を収集し、分析したものを学会でのプレゼン用にまとめた。

具体的には、1912 年に日本、合衆国およびオーストラリアで撮影された三枚の写真を「三幅対」として立体的な考察を試みた。プレゼン用の ppt 作成にあたり、関連する歴史的資料や写真等を渉猟し、発表での視覚的なインパクト演出にも心を砕いた。

バルセロナ大学でのシンポジウム発表とは別に 2011 年度後半から、最終年度の 2012 年度には、中央大学出版部発行の季刊評論誌『中央評論』で、「さかさまポートレート・ギャラリー」と題する評論の連載を開始した。テーマは冒頭で述べた環太平洋地域における先住民の映像表象である。

研究期間内では 2011 年 10 月号から 2013 年 1 月号までの通算六篇の評論が掲載されている。(詳細は報告書の 4 を参照)

(英文)

My research interest lies in the visual representation of indigenous peoples of the Pan-Pacific area, especially of the USA, Japan, Australia and New Zealand.

The highlight of this project would be my conference paper read at "Pacific Solutions Conference" hosted by the Australian Studies Centre at the University of Barcelona, Spain in December 2011 where I discussed "Ambiguous Gazes" of the three photographs from the US, Japan and Australia.

4. おもな発表論文等 (予定を含む)

【学術論文】 (著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月)

中尾秀博 「ブンガリー」『中央評論』277号 2011年10月

中尾秀博 「アヤ・イ・ガ」『中央評論』278号 2012年1月

中尾秀博 「キャシー・フリーマン」『中央評論』279号 2012年5月

中尾秀博 「アウトバックの聖母」『中央評論』280号 2012年7月

中尾秀博 「チャールズ・パーキンズ」『中央評論』281号 2012年10月

中尾秀博 「マトンバーダーの手」『中央評論』282号 2013年1月

【学会発表】 (発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月)

中尾秀博 "Ambiguous Gazes"

@ Pacific Solutions Conference

バルセロナ大学 オーストラリア研究所, 2011.12.12-15

【図書】 (著者名、出版社名、書名、刊行年)

【その他】 (知的財産権、ニュースリリース等)